



Asian Oceanian Congress of Radiology に参加して

インドには以前から興味があり、今回のイベントに応募しました。実際行ってみると現地の人はとても暖かく、若い人たちが溢れているとても元気な国でした。今回の学会もそれに違わず非常に活気があり、初めての国際学会ではありましたがとても刺激的でした。クイズ大会では日本とは異なる文化が肌で感じられました。日本より単純写真を読むトレーニング、サインを用いてのレポート記載などが日頃から行われている、何より英語でのレポート記載が当たり前ということに正直 culture shock を受けました。日本語で医学を学べる利点はたくさんありますが、やはり国際視点で見ると外国の医師と学術的な会話を直接しにくいという欠点を初めて実感できました。今回のクイズ大会では決勝には進めませんでしたが、決勝に進めても対話形式かつ病名も全て英語は正直難しいものがあると思いました。そういった問題点を感じた一方、各発表では日本の研究者たちの論文の引用が目立ち、日本の存在感はまだあると感じられました。今後の日本の放射線科を担えるよう引き続き勉学に励みたいと思います。このような貴重な機会を与えてくださった JRS に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

土方 陽一郎